



セミナー
情報

「介護保険制度改正の解説と介護報酬の行方」

日時: 8月20日(水) 13:30 - 16:30

会場: 港区立商工会館【浜松町駅 徒歩7分】 (詳しくは、<http://www.care-mas.com> まで)

講師: 小濱 道博氏 (小濱介護経営事務所 代表)

未届の老人ホームは911件

厚生労働省は3日、第5回目の「有料老人ホームを対象とした指導状況等のフォローアップ調査」のとりまとめ結果を公表した。

その結果、平成25年10月31日時点で届出済のもの
と未届のものをあわせた有料老人ホームは9,827件。
うち、未届の有料老人ホームは911件で、未届率は
9.3%。(第4回 H24.10.31 時点の未届率は4.9%)

また、前払金の保全措置が義務付けられている有料
老人ホームのうち、実際に前払金を徴収している事例
は1,201件あり、このうち、保全措置 が講じられてい
ない施設は141件であった。

厚労省は、7月3日付けで各都道府県指定都市、核市
に対して通知を出し、更なる指導を要請した。

サ高住の運営事業者を募集 JKK 東京

東京都住宅供給公社 (JKK 東京) は、サービス付き高
齢者向け住宅事業の建物賃借人 (運営事業者) を募集
している。

これは、世田谷区経堂四丁目にある千歳船橋住宅の
建替えに伴い、サービス付き高齢者向け住宅の整備を
行うため。管理・運営、高齢者生活支援サービス、高
齢者居宅生活支援事業、地域多世代交流事業を実施す
る建物賃借人 (運営事業者) を募集しており、8月15
日 (金) まで応募を受け付けている。開設予定時期は平
成29年4月。

給付対象の追加、拡充の参考にする要望募集 厚労省

厚生労働省は、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、
住宅改修についての現状や要望を把握し、来年度の報
酬改定に向けて、介護保険の給付対象となる種類の追
加や拡充等を検討する際の参考とする要望の募集を開
始した。電子メールで31日17:00まで受け付ける。

詳しくはお気軽に <info@care-mas.com> まで

単身・高齢者世帯 簡便な食事を好む傾向

農林水産省が5月27日に公表した「平成25年度食
料・農業・農村白書」によると、単身・高齢者世帯にお
ける食料消費支出は、生鮮食品が減少する一方、調理食
品や飲料・酒類が増加した。

65歳以上の単身世帯の食料消費支出は、平成15年と
平成25年を比較すると、「調理食品」が9.5%、「加工食
品」2.8%、「外食」4.9%、「飲料・酒類」は27.6%増加し
た。しかし一方、「生鮮食品」は6.8%減少。調理食品で
は、天ぷら・フライ、サラダ、調理パン、飲料では、コ
ーヒー飲料、果実・野菜ジュースが増加しており、簡便
な食事が選好される傾向にあることがうかがえる。

今後、単身世帯が大きく増加し、夫婦と子の世帯等は
減少する見通し。また、単身世帯においては、世帯主が
65歳以上の割合が上昇する見通しのため、単身・高齢
者世帯のニーズ把握が重要となる。

現役世代2.48人で高齢者1人を支える

総務省は25日、「住民基本台帳に基づく人口、人口動
態及び世帯数(平成26年1月1日現在)」を公表。なお、
今回の平成26年の調査からは、調査期日を「3月31日
現在」から「1月1日現在」に変更している。

平成26年1月1日現在の全国の人口は、外国人を含
めて総計1億2,843万8,348人で、日本人住民は、平成
21年をピークに5年連続で減少。日本人住民の出生者
数は減少傾向にあり、前年度は調査開始以来最低だっ
たが、平成25年は前年度から微増し103万0,388人。反
面、死亡者数は、調査開始以来最高で、自然増加数は7
年連続減少した。

年少人口(0歳~14歳)及び生産年齢人口(15歳~
64歳)の割合は、日本人住民では、調査開始(平成6
年)以降毎年減少し、老年人口(65歳~)の割合は毎
年増加。日本人住民の生産年齢人口を老年人口で割ると
2.48となり、これは、2.48人の現役世代(15歳~64歳)
で、1人の65歳以上の高齢者を支えていることを意味
する。